

## Brand Symbol (CPI) ブランドシンボル (CPI)

### シンボルの種類

シンボルはセットロゴタイプで 1 タイプのみです。マークとロゴタイプの位置、大きさの関係は固定されています。

### ヨコ組



### 使用規定

CPI ブランドのイメージづくりの中心として、最優先で使用します。

### 色指定

#### メインカラー



DIC 2587p  
CMYK= C78%, M22%  
RGB= R60, G141, B192  
HTML= #3C8DC0  
Monotone= K70%



CMYK= K100%  
RGB= R0, G0, B0  
HTML= #000000

#### サブカラー



DIC 2103p  
CMYK= C30%, Y67%  
RGB= R179, G222, B90  
HTML= #B3DE5A  
Monotone= K35%

## Brand Symbol (CPI) ブランドシンボル (CPI)

### ヨコ組シンボルのバリエーション

シンボルは、タイプ A を白い背景に表示する事を基本としますが、写真背景や有彩色の背景にも使用できます。用途に合わせて 3 種類のバリエーションを用意しています。

#### 基本形

#### タイプ A



#### 使用規定

通常はこのタイプを最優先で使用します。

濃度 40% ~ 100% 相当の背景色の場合は、ロゴタイプのみ白抜きで使用します。

使用の際は、視認性に充分配慮して下さい。

シンボル自体に任意の有彩色を与える事はできません。

#### 展開形

#### タイプ B



#### 使用規定

使用色の制約によりタイプ A が使用できない場合や、デザイン表現上効果的な場合に使用します。

濃度 40% ~ 100% 相当の背景色の場合は、ロゴタイプのみ白抜きで使用します。

濃度 65% ~ 75% 相当の背景色の場合は、使用できません。

濃度 30% ~ 40% 相当の背景色の場合は、使用できません。

使用の際は、視認性に充分配慮して下さい。

シンボル自体に任意の有彩色を与える事はできません。

#### タイプ C



#### 使用規定

使用色の制約によりタイプ A が使用できない場合や、デザイン表現上効果的な場合に使用します。

濃度 40% ~ 100% 相当の背景色の場合は白抜きで使用します。

使用の際は、視認性に充分配慮して下さい。

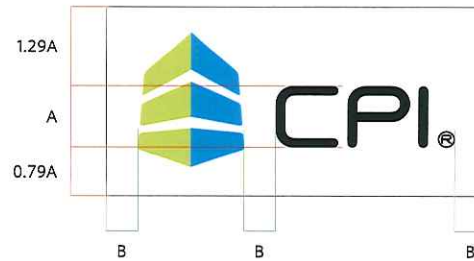
シンボル自体に任意の有彩色を与える事はできません。

## Brand Symbol (CPI) ブランドシンボル (CPI)

### シンボルのアイソレーション規定

「アイソレーション」は、表示されるシンボルの象徴性、識別性を維持するための規定です。この範囲内に他の文字や図形を表示することはできません。

#### ヨコ組



## Brand Symbol (CPI) ブランドシンボル (CPI)

### シンボルと背景色

シンボルを表示する場合の、表示色と背景色との関係を下表に示しています。ここでは背景色を無彩色で表示させていますが、有彩色、メタルカラー、写真背景の場合も、同様に判断して下さい。

明らかにCPIのイメージを損なう背景色は避けて下さい。

		タイプ A	タイプ B	タイプ C	
背景色の濃度	0% (白)				タイプCの表示色は白と黒で表示していますが、背景色が無彩色、シルバーの場合は、無彩色、シルバーのシンボルの使用が可能です。背景色が有彩色の場合は、白か黒のシンボルを使用して下さい。
	20%				
	40%				
	60%				
	80%				
	100% (黒)				